

科目名		知的財産法(Intellectual Property Law)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	経営情報学科	学修	1単位	必修	講義	前期 100分/週	45時間		
担当教員		【非常勤】黒木 良明 (【副担当】内田 保雄)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	知的財産法、その中でも特に特許法、実用新案法、意匠法、商標法の四法について、できるだけ平易な内容で説明する。さらに、より身近な著作権法、不正競争防止法の基本的な事項を取り上げる。								
	(1) 知的財産法で保護されるものは何か、保護される要件は何かを理解できる。 (2) 保護してもらうための手続きが理解できる。 (3) 知的財産権が侵害された場合の対応と権利の活用方法が理解できる。 (4) 著作権法の基本的な事項について理解できる。 (5) 不正競争防止法の基本的な事項について理解できる。								
学習・教育目標	(C) ④	JABEE基準1(2)		(b)					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「産業財産権標準テキスト(総合編)」(発明協会)								
補助教材等	著作権情報センターパンフレット								
達成度評価(%)									
①特許の取得手続き等について理解できる。				①中間試験で評価する。			30		
②意匠法、商標法、著作権法、不正競争防止法について理解できる。				②期末試験で評価する。			40		
③特許出願明細など発明の内容を理解してまとめることができる。				③レポートの内容で評価する。			30		
達成度評価(%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40		30					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	◎	◎		○					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】				◎					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
レポートを課す。									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	知的財産権制度とは 特許法の概要	知的財産制度の目的、概要について理解し、説明できる。 発明の要件、特許の登録要件について理解し、説明できる。	第1回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
2	特許権を取得するための手続き(1) 審査の流れ	①出願明細書に記載すべき内容を理解し、説明できる。 ②審査の流れを理解し、説明できる。	実際の出願明細書を読み、発明の内容についてレポートにまとめる。
3	特許権を取得するための手続き(2) ソフトウェア関連発明	拒絶理由通知に対する対応、明細書の補正の制限を理解し、説明できる。 ソフトウェア関連発明のクレームについて理解し、説明できる。	実際の拒絶理由通知書、補正書、意見書を読み、それぞれの内容についてレポートにまとめる。
4	外国での特許権の取得 実用新案法の概要	①なぜ外国で権利を取得する必要があるかを理解し、説明できる。 ②外国出願ルートについて理解し、説明できる。 特許法との違いについて理解し、説明できる。	第4回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
5	その他の特許法 ・新規性喪失の例外規定 ・共有に係る特許権 ・特許権が及ばない試験・研究	特許法に記載の他の重要事項について理解し、説明できる。	第5回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
6	特許権の活用	特許権の活用、特許権のライセンス、特許侵害等について理解し、説明できる。	第6回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
7	特許情報の取集(1)	特許分類などを理解し、説明できる。特許電子図書館(IPDL)を利用した特許検索ができる。	第1回～第7回で取り上げた内容の復習を行ない、試験に備える。
8	中間試験		
9	試験返却・解答解説 特許情報の取集(2)	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・IPDLを利用して特許検索ができる。 ・検索された公報について、発明の新規性および進歩性について理解し、説明できる。	各自の卒論テーマに関する特許公報を検索し、発明の内容についてレポートにまとめる。
10	特許情報の取集(3) 検索した特許の概要を発表する	第3者に分り易く説明できる。	第10回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
11	意匠法の概要 IPDLを用いた意匠検索の演習	・意匠法の概について理解し、説明できる。 ・IPDLを利用して簡単な意匠検索ができる。	第11回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
12	商標法の概要 IPDLを用いた商標検索の演習	・商標法の概について理解し、説明できる。 ・IPDLを利用して簡単な商標検索ができる。	第12回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
13	著作権法の概要	著作権と著作者人格権について理解し、説明できる。 著作権が制限される場合について理解し、説明できる。	第13回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
14	不正競争防止法の概要	権利の譲渡・実施権の許諾・設定という制度による権利の活用方法について理解し、説明できる。	第1回～第14回で取り上げた内容の復習を行ない、試験に備える。
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総学習時間数			45 時間
講義			25 時間
自学自習			20 時間